



MIKI
INTERNATIONAL
ASSOCIATION

VOL.41

2011.3

平成23年3月

三木市国際交流協会

2010 Christmas Party in MIKI

インターナショナルな人々が集う!!!



2010年12月19日（日）市役所みっきいホールにおいて開催された「MIAクリスマスパーティ」には、外国人ゲスト（40名）と会員・一般の方を合わせて約160名の方にご参加いただきました。前田会長の開会挨拶に続き、藪本市長、松本教育長のご祝辞をいただきました。有野理事には乾杯の音頭を、司会進行は宮崎和歌子、松本けい子、ALTのローレン、エイミーの4人の会員の方々にお願いしました。晴れやかな着物姿の外国人女性や市内在住の外国人の日本語での自己紹介に、会場はほのぼのとした雰囲気になりました。また、優雅なサリー姿の日本人会員も華を添えてくださいました。

木村FAMILY&TETSUYAのダイナミックな演奏に熱くなり、ボーカルの甘いボイスにすっかり酔いしれました。特別演出の沖縄踊りで会場はヒートアップ。“笑顔の花”が咲きました。「お楽しみ抽選会」では、*フェアトレード店や現地で購入した海外の発展途上国5カ国の民芸品に皆さん大喜び。閉会の辞は萬谷副会長にお願いし、最後はバンド演奏にあわせて「White Christmas」を大合唱して、来年の再会を約束し、お開きとしました。

なお、お茶席の接待は中筋洋子さんのグループ、着物の着付けは岩崎和子さん、サリーの着付けは中西真佐子さんにお願いしました。ご協力ありがとうございました。

* フェアトレード…公正取引

2010 Christmas Party in MIKI

The speeches were given by Mayor Yabumoto, Superintendent Matsumoto and MIA president Maeda. Director Arino proposed a toast to our health and success. The participants enjoyed a fabulous concert, tea ceremony and lucky draw.



ゲストバンド「木村FAMILY&TETSUYA」の粋な演出で盛り上がる参加者。沖縄民謡「チャンブルーブギ」に合わせて、「カチャーシー」を全員で踊りました。和室のふすまを開閉する要領で、両手を左から右へ、右から左へと動かすだけの単純な振り付けでしたので、初めての方もなかなか堂に入っていました。冬の三木で沖縄の青空を感じながら、楽しい時間を共有しました。



神戸などでも大活躍の「木村FAMILY&TETSUYA」をお招きました。

木村音楽一家の長は、独自のサウンドを追及するジャズピアニスト「きむたく」こときむらたくやさんです。彼の弟は、国際的なミュージシャンとの共演など、経験豊富なベーシスト「きむさく」。自在に楽器を操り、時に激しく、時にはしっとりとした音楽を聞かせてくださいました。また、きむたくさん愛娘で、数々のギターコンクールで賞を取り続けているギタリスト「MOMO」の作曲した大作の素晴らしさに、会場は水を打ったようになりました。沖縄出身の癒しのヴォーカリスト「TETSUYA」の甘く優しいボイスは、われわれを包み込むように“ルート66”などの歌で古き良きアメリカにいざなってくださいました。



バングラデシュの刺繍入りバッグ、ミャンマーの小物など国際色豊かなプレゼントの品々が揃いました。いつかは行きたい海外旅行。でも、なかなか…そのような方々の手に渡りますように。また、発展途上国へのささやかな貢献になりますように。と願いながら… “Lucky you!”

国際社会で活躍される人々

2010年度PHD研修生・三木へ受入れ
「ようこそ！三木へ」

会員A273 前田 節子



(財) PHD協会のネパール人研修生、ウルミラライ・ダヌワールさんが三木市総合保健福祉センターに研修中、我が家にホームステイされました。自國では、首都カトマンズから車で約3時間の村の診療所で助産師や看護師として働いておられます。

週末は自由時間。茶道体験や旧玉置家の見学をしました。また、ネパールの方が経営されているレストランで昼食。ウルミラさんにとっては久しぶりのネパール語でお店の方と話が弾みました。花が大好きなウルミラさんは加西のフラワーセンターで、バラなどの花の写真撮影に夢中でした。帰宅後は華道体験。そして、夕飯の準備を手伝っていただきながら、和食の作り方も体験していただきました。

ウルミラさんの滞在中で驚いたことは、日本語が上手なこと。家族や村のことなどを話してくださいました。そのなかで印象に残ったことは、村には水道設備はなく、毎日“かめ”などで生活用水を運ばなければならないとのこと。便利な生活にどっぷりつかり、それが当たり前になっている私に反省を促してくれる“ことば”でした。



三木の若者がJICA青年海外協力隊として
「いってきます！ベナンへ」

JICA青年海外協力隊員 神木 英里



「私にも何か出来る事があるかもしれない。」そんな思いで、2011年1月上旬、私は遠いアフリカの地・ベナンへ赴任しました。

循環器病棟の看護師として三木市内の病院で5年間勤務したあと、発展途上国の人々と一緒に働き、役に立ちたいとの思いから、JICA青年海外協力隊に志願したのです。主な担当は母子保健です。地域での活動という人々に密着した業務を希望していましたので、ここ数ヶ月間は訓練所の研修に加え、国際交流協会を通してのフランス語特別レッスンなど、言語の習得に心血を注ぎました。

「アピールポイントは、長所でもあり、短所でもあるマイペースな所です。」常に前向きな気持ちで地元の方々の身近な存在になり、一日も早く、困られている方々のお役に立てるようになりたいと思います。



写真左から2人目(神木さん)

三木生活ガイドポルトガル版 3月末発行！

MIAでは、市から委託を受け、「三木生活ガイド（ポルトガル版）」を作成いたしました。外国人市民のためのガイドブック－英語版、韓国版についてブラジル人の市民を対象としたものです。翻訳は、ロベルタ、神沢、金川、長谷川の皆さんにお願いしました。市役所の市民課、MIA事務局に置きます。ご利用ください。

COOL MIKI

◆◆◆◆◆ ~三木は素敵な町~ ◆◆◆◆◆

めずらしく日差しの暖かい1月29日(土)三木山森林公园・音楽ホールで「COOL MIKI」が催されました。

第1部は『日本語de発表』、第2部は『英語de落語』のそれぞれ趣の異なるステージでした。会場は大入り満員! 276人のお客様で埋め尽くされました。観客の皆さんには外国人による日本語発表には熱心に耳を傾け、話の内容や話し振りに感心されました。ゲストのダイアン吉日さんことダイアン・オレットさんは、ご自身の日本での体験談を入れながら発表の講評をしてくださいました。また、英語落語では、巧みな話術や所作が作り出す演者ワールドに引き込まれ、爆笑の渦につつまれました。

ご協力頂いたアンケートにはご満悦の様子がうかがえる内容のコメントが多くありました。ご来場の皆様に心よりお礼を申し上げます。



「Intro-action!(解説)」

息の合った二人の演者が、親切に丁寧に落語の基本を解説。初めての方もこれで安心。すぐにでも舞台に立てる気がしたのは私だけ?

「Eel Restaurant(うなぎ屋)」

理知的なたたずまいの演者が、うなぎがによろによろ動くさまを、巧みな手さばきで表現。とぼけたうなぎ屋を大熱演!



EIGO de RAKUGO



「Zoo(動物園)」

さすがプロの演じるトラは迫力満点! ちょっとリメタボのトラはアイスクリームを控えたほうが良いのでは? 何度も聞いてもこの話の落ちは最高!!!

「The lost and found office(お忘れ物承り所)」

【原作:桂三枝】
列車内に赤ちゃんを忘れ、大慌てのママに対応する駅員との絶妙な掛け合いに大笑い。入れ歯のない老人の話術には皆、唖然…。



日本語で発表

外国人の目で見た三木
外国人が接した三木の人々

ことばの教室 「日本語クラス」 の学習者たち



「心からの感謝」

買い物の途中に財布を落として真っ青。
一生懸命働いた今までの苦労も水の泡…。
半ば諦めていたら、親切な日本人が届けてくださいました。忘れられない思い出です。心から感謝します。

／(中国)学習歴2年9ヶ月



「私の感じた日本とモンゴルの違い」

小学校で持参禁止の携帯電話を持っていた男の子を見つけた私。仕返しが怖くて、先生に言えませんでした。どこの国にもこわい男の子はいるものです。今では学校生活にも慣れ、友だちもたくさん出来ました。

／(モンゴル)学習歴1年9ヶ月



「ようこそ！神秘の国“シリア”へ」

シリアの首都・ダマスカスは紀元前800年前からあります。1・2・3…はアラビア数字、「レモン」「トマト」「コーヒー」などの語源はアラビア語です。メソポタミア文明の発祥地・シリアには神秘がいっぱいです。

／(シリア)滞在7年・学習歴2ヶ月



「所変われば品変わる」

毎日教室の掃除をする日本の生徒には感心します。また、上手下手に関係なく入部できる部活は、お互いに助けあう気持ちが芽生えて、良いと思います。英語の先生として精一杯、努めますので、どんどん英語で話しかけてくださいね！

／(アメリカ)友情出演



「日本語クラスで私の得たもの」

「日本語、さっぱりわからへん！！！」来日直後はそんな心境でした。そんな私が勉強をするうちに、『光陰矢のごとし』という諺から、「そうやろ？」という関西弁まで、自在に使い分けできるようになりました。ことばがわかるにつれて、日本がますます好きになりました。

／(中国)学習歴1年9ヶ月



教えることは学ぶこと

日本語クラス・ボランティア支援者
高田 委子

ひよんな事から（「先生“ひよんな”ってなんですか？」っていう声が聞こえてきそうですが…）MIAの日本語クラスのお手伝いをさせて頂くようになって2年と半年が過ぎました。

その間、あちこちで開かれる日本語ボランティア養成講座に2～3回通ったでしょうか。そうです、日本語を教えるのは容易なことではなかったのです。学生時代、なんとかクリアしてきた国語文法でしたが、ここではほとんど役に立ちませんでした。日本語を教えるための文法、構文、テクニック。それらを全く知らないまま飛び込んだ日本語クラスのボランティア活動でした。

そんな経験不足の私が担当した最初の学習者が、過日、“COOL MIKI”で日本語発表をされた谷 春偉さんでした。日本語の考え方を知らない私と、日本語が全く分らない谷さん。私は日中辞書、彼は日本語テキストの中文版を片手に、日本語学習がスタートしたのです。彼はクラスでの学習だけでなく、自身でもよく勉強される方でしたので、私によく質問をされました。その質問に答えるために私は勉強しなければいけません。彼の質問が私の考え方の“先生”だったということでしょう。

谷さんはこの2年半、暑い日、寒い日、雨の日、一日も欠席することなくクラスに通われました。頭が下がります。徐々に辞書の出番が少なくなる頃には、日常の会話が出来るようになり、簡単な文章も書けるようになりました。その集大成が“COOL MIKI”での発表です。堂々と話す彼の姿にウルウル（あつ、また質問されそうです！）したのはいうまでもありません。私を日本語ボランティアとして成長させてくれた本当に素晴らしい学習者さんでした。この出会いに感謝です。



日本人の魂にふれた旅

日本語クラス・ボランティア支援者
西 美知子

日本語教室の生徒が楽しみにしていたのは、1月10日のバス旅行。行く先は篠山でしたが、積雪が心配で出発寸前に赤穂へと変更されました。

バスの窓からの晴れ上がった冬空を眺めながら、前事務局長・倉橋氏による「忠臣蔵」の説明に耳を傾けました。参加した外国人12名も神妙な面持ち。が、実際に「忠誠心」「あだ討ち」「自刃」などの意味が理解できたかどうかは疑問がありました。しかし、その一端にでもじかに触れることができ、楽しいひと時を皆で共有できれば、この旅行の意義はあったと思います。参加者からの感想は次のようでした。



今回の旅行で、私は四十七士の物語に心を打たれました。感謝の気持ちの意義を考えさせられました。印象深かったのは、大石神社の東郷平八郎の「忠魂・義胆」という題字です。高倉健の参拝の写真、田中角栄元首相の題字、昔の甲冑、武士刀、浅野さんが書かれた「萬山不重君恩重、一髪不輕臣命輕」の詩などにも感動しました。クラスの皆さんと一緒に過ごした光景は全て楽しかったです。

私はバスツアーで神社が見られたので、とっても嬉しかったです。その中にはいろいろな物があつて見るたびにワクワクしました。次は雪が降っているところに行ってみたいですね。

恒例のバス旅行は、クラスメートとならどこに行っても楽しいです。今回の赤穂への旅では、英雄・大石内蔵助の偉大さを実感しました。

第4回国際理解講座

『マダガスカルってどんな国?』

講師／Ratsimbazafy Lalaia Cynthia
(ラチンバザフィー ラーライナ シンティア)
2011. 2. 20



アフリカ大陸の南東約300km、インド洋南西部にある“マダガスカル”から、兵庫県立大学に留学中のシンティアさんにお話いただきました。マダガスカル特有のバオバブの木やシファカ（珍しい猿）、美しい海が必見の国ですが、2年前に政変があり、経済、環境、全てにおいて厳しい状況にあるとのことでした。参加者はお話を熱心に質問され、状況の改善策などにも言及されました。

後半は“神戸ナマナクラブ”（マダガスカル語で友達という意味）の活動の紹介でした。識字率の低い農村部へ図書を寄贈するなど、長年支援を続けておられることには頭が下がりました。

Republic of Madagascar

国旗：白—宗教
緑—自然
赤—血（戦争の犠牲者）



国のシンボル：たびの木

国歴史：

1500年／ポルトガルのDiego Diasによって発見される

1650～1886年／王国

1890～1960年／フランス植民地

1960年／独立

面積：59万km²

人口：2000万人。半分は20歳以下。

寿命：53歳（男）／58歳（女）

平均年齢：18歳

首都：アンタナナリヴ（人口130万人）

県：6

言語：フランス語と英語（2005年から）
マダガスカル語（固有の言語）

気候：10月から4月まで夏（温度20～33℃）
5月から9月まで冬
(5～19℃)



民族の起源：

ポリネシア（中部）／50%
アフリカ（南と西）／30%
ほか中国、インド、ヨーロッパ（北と東）／20%

宗教：キリスト教—58%
イスラム教—10%

観光事業：



バオバブ

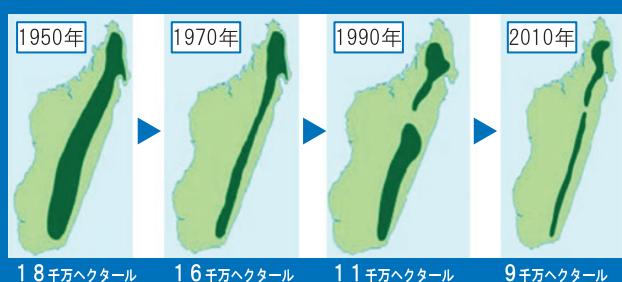


海岸部



キツネザル

森林面積：



Q：貨幣について

A：貨幣の単位はアリアリ。

1万アリアリは日本円で500円ほど、一番安い肉・牛肉が2kg買えます。

Q：治安について

A：首都や大きい町は窃盗などの犯罪が多い。

Q：観光旅行について

A：某旅行代理店ではグループツアーで約50万円。個人だと大体その半分くらい。

シンティアさんは、諸外国や農民の行なう森林伐採で、独立から60年間に二分の一の森林が消えていく現実に危機感を感じておられます。将来、帰国される時には、何らかの改善策を携えておられる事を期待しています。それと同時に、われわれ日本人も遠い国のことではなく、地球上の問題として捉え、日頃の使い放題の生活を改めて考えさせられた講座でした。

Events & Meetings 平成23年4月～平成23年7月

月・日(曜日)	時 間	場 所	事 業
4月27日(水)	13:00	三木商工館	第1回理事会
5月 9日(月)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 英会話実用／年間30回
5月 9日(月)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 日本語／年間30回
5月10日(火)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 英会話中級／年間30回
5月10日(火)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 韓国語初級／年間30回
5月11日(水)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 英会話初級A／年間30回
5月11日(水)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 NEWS IN ENGLISH／年間15回
5月12日(木)	10:00	教育センター	ことばの教室開始 英会話入門／年間30回
5月12日(木)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 中国語入門・初級／年間30回
5月13日(金)	10:00	教育センター	平成23年度総会・記念公演「アンデスの風を感じて」
5月13日(金)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 スペイン語初級／年間30回
5月20日(金)	10:00	教育センター	ことばの教室開始 英会話表現活動／年間27回
6月12日(日)	13:00	教育センター	第1回国際理解講座「タイトル未定」
7月17日(日)	13:00	教育センター	第2回国際理解講座「外国文化にふれあうディ！」

ボランティア募集中！

- 日本語クラス支援者・・・月曜日(19:00～20:30)
- 外国人の支援・・・・・・随时
- 国際理解講座講師・・・・海外勤務や滞在経験のある方など
- イベントの手伝い・・・司会、設営など
- 企画・・・・・・・・フレッシュなアイデア提供
イベント立案
- MIA広報誌・・・・取材、寄稿

お気軽にご連絡ください。



姉妹都市“交流ツアーコロナ内”

ホストをした学生との再会・・・
新しい出会いを求めて・・・
ツアーパートicipateに参加し、交流を深めませんか？
(8月下旬実施予定)

広報・ちらし(ちらしラック)にてお知らせします

乞う御期待！



編集あとがき



平成22年度の事業を恙無く終えようとしており、ひとえに会員の皆様のご協力・ご支援の賜物と心より感謝いたしております。ことばの教室では、多くの受講生が“ことば”を媒体に交流を深めておられます。予想外の浄財を頂いたバザーでは、例年より多くの団体に寄付することが出来ました。パーティや理解講座には、大勢のニューフェイスが参加されました。また、初企画「2言語による『COOL MIKI』」で発表された日本語クラスの外国人は、ボランティア支援者の声援に見事に応えられました。今後も海外との姉妹都市交流や市内の外国人との身近な交流を会員の方々と共に続けたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。“Think globally, act locally.”

編集・発行

三木市国際交流協会
Miki International Association

〒673-0492 三木市上の丸町10-30 (市民ふれあい部 市民協働課内)

TEL (0794) 89-2318

FAX (0794) 82-9755

[E-mail] kokusai@city.miki.hyogo.jp

[ホームページ] <http://www.city.miki.hyogo.jp/>